

令和5年度第3回小牧市環境審議会 議事録

日 時	令和6年2月14日(水) 午後2時00分～午後2時50分
場 所	小牧市役所 本庁舎6階 601会議室
出席者	<p>【委員】(50音順)</p> <p>○石川 英里 中部大学工学部教授 今枝 正 こまき環境市民会議会長 岡村 恵美 公募委員 酒井 美代子 小牧市女性の会会長 田上 昭典 小牧市小中学校校長会 馬場 容子 公募委員 宮脇 稔 愛知県地球温暖化防止活動推進員</p> <p>◎山本 敦 中部大学応用生物学部教授 吉本 三広 市内事業所推薦</p> <p>※ ◎会長 ○副会長</p> <p>【事務局】</p> <p>入江 慎介 市民生活部長 小川 正夫 市民生活部次長 梅村 知成 環境対策課長兼ゼロカーボンシティ推進室長 鈴木 尚紀 ごみ政策課長兼ゼロカーボンシティ推進室主幹 宮下 美則 リサイクルプラザ所長 古田 麻紀子 環境政策係長兼ゼロカーボンシティ推進係長 日比野 豊 環境保全係長 若山 愛美 環境政策係主事兼ゼロカーボンシティ推進係主事 若原 章裕 環境保全係技師</p>
欠席者	長内 敏将 市内ISO14001認証取得事業者
傍聴者	0名
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・資料1：第三次小牧市環境基本計画改定に係る基本的な考え方について ・資料2：現行計画の評価と改定で検討すべき課題

主な内容

1 あいさつ

- ・山本会長あいさつ

2 議題

(1) 第三次小牧市環境基本計画改定に係る基本的な考え方について

- ・事務局より「資料1：第三次小牧市環境基本計画改定に係る基本的な考え方について」及び「資料2：現行計画の評価と改定で検討すべき課題」について説明
- ・質疑、主な意見は以下のとおり

(吉本委員)

アンケートの配布数は何通か。

(事務局)

市民に対して1,500通、事業者に対して300通配布した。

(吉本委員)

回答実数から、約3割の回収率だったことが分かった。

アンケート結果は公表が前提だと思うが、公表時に数字の分母や評価基準のABCについて、説明が必要と思う。特に標準偏差などは、一般の方がぱっと見て分かりにくいと思うので、その辺りを丁寧に説明したほうが良いと思う。

また、質問ではないが、現行計画の5分野についてこれから推進していくということで、ぜひ関係部署と連携して具体的かつ効果的な活動や発信をしていただければと期待している。

環境関連講座等参加人数など基準値より数値が落ちているものについて、コロナ禍により活動の制限があったと思う。今はそういった制限が緩和されているので、市民への環境講座のさらなる充実、市民参加型による市民意識の啓発や向上への取組を推進していただければと思う。

SDGsの環境分野のゴールに向け、市民や民間企業と一層の関わりや共同開催なども検討していただければと思った。

(事務局)

標準偏差については、分かりやすい形で公表させていただく。

(山本会長)

標準偏差は平均値があって、正規分布した際の変曲点が何%かによってAやBというのが決まってくると思うが、難しい説明になるかと思う。

(事務局)

簡単に言うと、数字の平均を出し、その平均からどれだけ離れているかによってA～Cの評価をするといった考え方である。

(山本会長)

最後の総合評価のABCは何を根拠に決めたものか。

(事務局)

最後の総合評価のABCのつけ方については、資料2の4-2に記載しているが、今後の事業を再検証するようなものに関してはC評価、現行計画のまま事業を継続するものに関してはA評価、一部見直しをするものはB評価という考え方である。

(山本会長)

今の説明は、読めばわかるようになっているか。

(事務局)

資料に関してはホームページにも掲載するので、そこを見ていただければわかるようにする。

(今枝委員)

資料については、かなり網羅されており、あとは具体的な取組を検討していかなければならないところだと思う。小牧市が令和3年度にゼロカーボンシティを表明し、国の目標でもある46%削減に向けてこれから事業を進めると思うが、仮にこのABC評価が全てAになった時に、二酸化炭素はどのくらい削減できるのか疑問に思った。その中で、資料1には「2030年までを取組の加速期間として位置付ける」とあるが、今のスピードでは目標を達成できるか不安があり、仮にこの評価が全部Aになったとしても、非常に難しいのではないかと感じる。具体的な取組を挙げながら、方向性をもっと詰めていかなければならないと思った。

(山本会長)

全てがA評価になったらカーボンニュートラルが実現するのだろうか、記載すべきなのか、事務局から考えをお聞かせ願えればと思う。

(事務局)

成果指標と取組指標というところで、成果指標ではやはりそういった観点は必要になると思っている。国は2030年に46%削減を目標としており、小牧市でも46%よりもさらに高みを目指すかを今後検討していくことになるが、指標を整理した上で、それぞれの取組を進めていきたいと思っている。

そのため、評価がAになったからカーボンニュートラルが実現できるかどうかというのは、この場ではお答えできない。

(石川委員)

吉本委員の内容と同じになってしまうが、人づくり・基盤整備のところで、環境関連の参加人数が基準値に比べて減っているとのことが、基準値はどのように決めているのか。

(事務局)

基準値は、平成30年度の実績値を用いている。

(石川委員)

参加人数を増やすためには、周知方法や講座等の内容の見直し行っていくということか。

(事務局)

基準値より数値が落ちているものは、周知方法の工夫や他のイベントとコラボする

など、人数を増やす努力をしたいと考えている。

(宮脇委員)

市民のアンケート結果が環境基本計画の中間見直しにも繋がっていくと思うが、満足度を上げるために全部取り組むことは難しいと思う。例えば、公共交通機関が充実しているかの項目では、15分おきにバスを走らせないと市民は満足してくれないかもしれない。もしそうなった時は、CO2がどんどん排出されることになってしまう。この評価を咀嚼して、それを基本計画の方に盛り込んでいただきたい。

温室効果ガス排出量の削減目標について、非常に高い目標ではあるかと思うが、やはり目標は高い方がいいと思う。今年度、家庭用の照明器具をLEDに買い替えた方に対して3分の2の補助を実施しているが、他の市町村の方に話すと「すごいですね」評価された。今後もぜひ別の機会でもそういった施策をやっていただきたい。

(田上委員)

資料2の4-5ページはC評価が羅列されているが、コロナ禍もあったと思うので、来年度以降のアンケートでは参加者人数も増え、評価も変わってくるのではと思う。小牧市が住みよいまちになると良いと思うし、これからを担う子供たちのためにも、学校現場の立場として、必要な環境学習などの取組は協力して、ぜひ進めていければと思う。

(岡村委員)

5分野の評価Cにあたる部分について、市民の方の意識であったり、気持ちに関する部分が多いような気がしており、コロナがとても環境に影響しているのだという点で、改めてわかりやすい資料だったと私は感じた。

例えば、公共施設のエネルギー消費量は、現在値で結果が出ており、小牧市が取り組んでいることが市民の方にも伝わるのではないかと思う。

今後の考え方については、皆さんの意識を高めればC評価が減るのということも思った。

(山本会長)

最初に資料を見たときに、「レジリエント」や「ネイチャーポジティブ」など理解しにくいカタカナ文字が多いと感じる。これは、国の方策なのか。

(事務局)

国の計画に記載されている語句を記載しているが、委員がおっしゃるようにわかりにくいと思う。

(山本委員)

注釈で説明があるので、それを見ればよくわかると思うが、文章中にカタカナ文字が多いという印象を受けた。他の委員についても、わからない語句などがあれば挙げていただければと思う。

(酒井委員)

私自身、環境活動をしているので、自分たちがやっていることはこのような評価になっているということを知ることができた。これを市民の方に公表していくのであれ

ば、横文字が多いと特にお年寄りの方は理解しにくいと思うので、わかりやすい文章にさせていただけるとありがたい。

(馬場委員)

アンケートをもとに出された評価なので、これが事実なのだと思うので受けとめている。先ほど岡村委員が言われたように、C評価というのは市民が直接、間近で感じることで、すぐに答えが出るような項目だったのかなということを感じた。

山本会長が言われたように横文字の部分、例えば循環経済のサーキュラーエコノミーや自然再興のネイチャーポジティブというのは、括弧書きで何度も書かれているが、「循環経済」と言った方が日本人はわかりやすいのではないかなと感じた。

個人的には、資料2の4-14にある自然環境学習の水生生物調査の実施校数が10校から7校になって、評価がCだったということが、なかなか評価は厳しいなと感じた。もう少しでAになりそうな指標もあるので、全体的にB評価があるのは、良い傾向だと感じた。

(今枝委員)

小牧市の人口は15万人ほどだが、その中には外国人の方が多くいる。環境といってもなかなか外国の方には浸透しづらい面があり、区長さんもいろいろ苦勞されると聞く。外国人の方にもこういった環境問題について、多少なりとも関心を持っていただけるような、何か発信できるようなものを取り入れていただけたらと思う。

(事務局)

そういった視点も検討したいと思う。

3 その他

- ・特になし

以上